匝瑳市に確かな未来を！ 2026年10月号

パワフル市政レポートNEO

匝瑳市が抱える「3つの危機」

財政・病院・市民生活、今そこにある危機



市民の皆さまへ

現在、匝瑳市は市政史上で最も危険な「財政と行政の危機」に直面しています。市民への十分な説明もないまま裏で進行する深刻な事態をお伝えします。

財政危機 市の貯金が枯渇寸前！ 自由に使えるお金はわずか「0.9%」

1 「市の貯金」が激減	令和 4 年度に約 29.9 億円あった**財政調整基金**は度重なる取り崩しにより、令和 7 年度末に約 12.7 億円、**最終的に約 5.4 億円まで減る**見通しです。
2 硬直化した財政構造	予算（約 170.9 億円）のうち 99.1% が固定費で消え、**新たな政策に回せる自由なお金はわずか 0.9%（約 1.5 億円）**しかありません。
3 資金ショートの現実	令和 8 年 3 月末時点で市の**現金残高が約 1 億円まで減少**し、一時的に職員給与の支払いさえ危ぶまれるほどの深刻な資金繰りに陥りました

病院危機 市民病院累積赤字28億円!? 新病院建設費総額110億円に!?

1 膨らむ赤字と補填	**市民病院**は年間約 6.7 億円以上の税金補填を受けてもなお**累積赤字約 28 億円。老健「ぬくもりの郷」も毎年多額の補填**が行われています。
2 膨張する建設費	**施工業者の工事見積額（約 88 億円）が市の参考価格（77 億円）を大きく超過**し、プロポーザル審査での「見積価格点」は『0 点』であったことが発覚。**最初から予算オーバーにもかかわらず決定強行**。
3 借金での土地購入	公費で賄えないハコモノ計画の穴埋めとして市民から**「寄付金（1 口 1,000 円～）」を募り始める**一方、6 月議会では**新たな借金（企業債約 1.9 億円）をしてまで土地取得（約 2.5 億円）を強行**しました。

市民生活危機 市民の暮らしは切り捨て、議員報酬は引き上げ!?

1 市民サービスの削減	**国保税値上げや子ども医療費負担増**に加え、地域の絆である**学校・保育所の相次ぐ廃止・統廃合**（吉田小・保育所）や**「勤労青少年ホーム」廃止**など、市民の暮らしへのしわ寄せが次々と決定されました。
2 現場の疲弊と離職の危急	市職員の地域手当引き上げを見送り 2% へ据え置いたため現場が疲弊し、**約 4 割の職員が退職・転職を検討する異常事態**に陥っています。
3 二重基準（ダブルスタンダード）	市民や現場職員に痛みを強いる裏で、市議会は自らの**「議員報酬引き上げ（月額 35 万円へ）」**を可決しました。



詳しくは中面で掘り下げていきます！

かりや進一 後援会事務所

〒 289-2148 匝瑳市飯倉台 11-20 TEL **0479-79-2001** FAX **0479-79-2006**

■かりや進一後援会事務所 頒布責任者 宇井野 辰弘

後援会討議資料

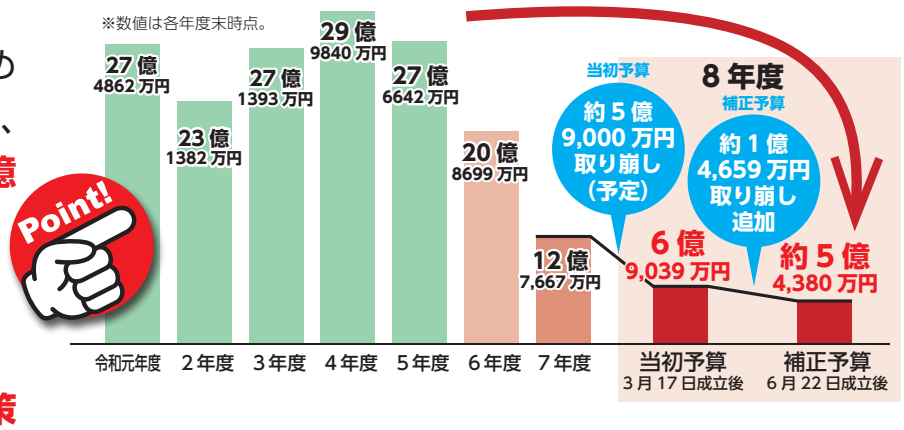
倒れかけた匝瑳を立て直し 正しい未来を取り戻そう！ 財政再建

財政危機　枯渇する「貯金」と忍び寄る資金ショート

1 「市の貯金」が数年で 5 分の 1 以下へ

令和 4 年度に約 29.9 億円あった**財政調整基金**は、穴埋めによる度重なる取り崩しにより、令和 7 年度末に約 12.7 億円、今年度予算で合計約 7.4 億円を取り崩し、最終的に**「約 5.4 億円」まで激減**する見通しです（図 1 参照）。

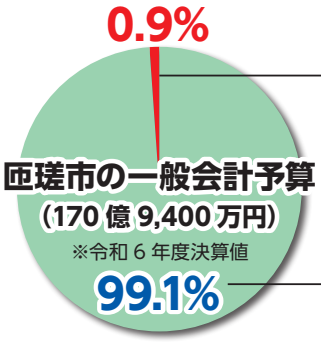
図 1：財政調整基金残高の推移



2 自由に使えるお金はわずか「0.9%」

予算（約 170.9 億円）の 99.1% が固定費で消え、**新たな政策や市民支援に回せるお金は 0.9%（約 1.5 億円）**しか残されていません（図2参照）。

図 2：一般会計予算（令和 6 年度決算値）



自由に使えるお金

【赤色】1.5 億円（0.9%）
新たな政策や市民サービス、突発的な事態（災害等）の対応に使える余裕です。

固定費（人件費・借入金返済など）

【青色】約 169.4 億円（99.1%）
税収等のうち、あらかじめ使い道が決まっており、どうしても減らせない経費です。

3 給与支払いも危ぶまれる現金不足

令和 8 年 3 月末時点で**「市の現金残高が約 1 億円まで減少」**し、一時的に職員給与の支払いさえ危ぶまれるほど資金繰り悪化しました。



市民生活危機　暮らしの切り捨てと行政の二重基準（ダブルスタンダード）

1 市民への痛みの押し付け（76 事業の廃止・縮小）

国保税値上げや子ども医療費の負担増に加え、地域の絆である学校・保育所の相次ぐ廃止・統廃合（吉田小・保育所）など、市民の暮らしや子育て環境へのしわ寄せが次々と決定されました（図 4 参照）。

図 4：増税・廃止・縮小事業

社会保障・家計への負担増（医療・年金・福祉）	【増税】国民健康保険料の大幅値上げ（令和 8 年 4 月～）
	子ども医療費の助成削減
	がん検診補助の縮小
	難病患者への見舞金廃止
高齢者・交通 住まいの支援	タクシー補助券の支給枚数削減
	住宅リフォーム補助金事業の廃止
地域経済 文化・イベントの休止	「よかっぺ祭り」補助金の休止
	経済活性化事業の全額休止
	商工会・シルバー人材センター補助の削減
公共施設・教育環境の切り捨て	「勤労青少年ホーム」の廃止・閉館
	「アジサイ道路」の廃止
	学校・保育所（吉田小・保育所）の統廃合

2 優先順位の歪みと「津波避難タワー放置」

物価高の市民給付金が周辺市町より遅れる一方、**新病院の土地取得（借金約 1.9 億円）は超スピード決定**。10 年放置された津波避難タワー再建（約 1.4 億円）も**アンケートで住民に判断を丸投げ**しようとしています。

3 現場への抑制と「議員報酬増」の矛盾

市職員の地域手当引き上げを見送り 2% へ据え置いたため現場が疲弊し、**約 4 割の職員が退職・転職検討と回答**※1。その裏で市議会は自らの**「議員報酬引き上げ（月額 35 万円へ）」**を可決しました。

引き上げ後の報酬額は、周辺市町と比較しても非常に高い水準です（図 5 参照）。**「市の貯金が枯渇寸前」**という危機的状況において、自らの待遇だけは厚くする行政の完全なダブルスタンダードであり、市民感覚から大きくかけ離れています。

図 5：近隣市町の議員報酬（月額）比較

自治体名	人口（概算）	議員報酬（月額）
匝瑳市	**約 3.3 万人**	**350,000 円**※2
香取市	**約 6.9 万人**	350,000 円
旭　市	**約 6.3 万人**	**340,000 円**
銚子市	**約 5.4 万人**	365,000 円
山武市	**約 4.7 万人**	**330,000 円**
横芝光町	約 2.2 万人	237,000 円
多古町	約 1.3 万人	220,000 円
芝山町	約 0.7 万人	215,000 円

財政状況が一番厳しいのは匝瑳市です！

※出典：各自治体の「議会議員の議員報酬等に関する条例」および総務省・全国町村議会議長会公表データ等より作成（数値は一般議員の月額報酬）。

※1：匝瑳市職員労働組合広報誌「あかつき」2026 年 3 月 13 日 1623 号より
※2：人口は直近の推計値。匝瑳市の報酬は引き上げ前の 335,000 円から増額

・病院再考・生活最優先

病院危機　税金での赤字穴埋めと「110 億円」の暴走

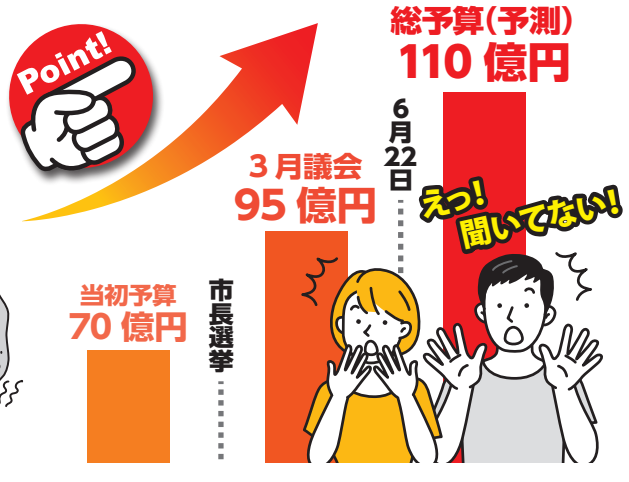
1 一般会計（税金）からの多額な赤字補填

■国保匝瑳市民病院	実質赤字は年約 6.7 億～ 6.8 億円。毎年多額の税金を投入して形式上の黒字を作っています。**累積赤字は約 28 億円**です。
■そうさぬくもりの郷（老健）	**入所率約 9 割**と市民に必要な施設であるにもかかわらず、赤字補填として一般会計から多額の税金（令和 7 年：1.36 億円、令和 8 年：7,300 万円）を投入。**行政は自力改善を諦め、「民間に売却・委譲」して手放そうとしています。**

2 見切り発車と市民への「寄付頼み」

新病院の建設費は 110 億円規模へ膨張（図 3 参照）。施工業者決定では工事参考価格 77 億円に対し約 88 億円の見積が出されプロポーザル審査の「見積点 0 点」で強行決定。**不足分を市民の「寄付（1 口 1,000 円～）」に頼る始末**です。

図 3：新病院建設費の増加



3 現金がない中での「借金による土地購入」

市の現金が約 1 億円まで枯渇する非常事態の中で、6 月議会では新病院の用地取得（約 2.5 億円）のため、**新たに約 1.9 億円の借金（企業債）の追加を強行しました。**

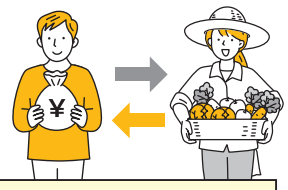


総　括　匝瑳市再生への「3 つのテーマ」

財政再建　貯金の切り崩しに頼る自転車操業は限界です。**大型出費を抑え、健全な財政基盤を取り戻さなければ将来世代に莫大なツケを残します。**

ふるさと納税改革による「稼ぐ力」の強化

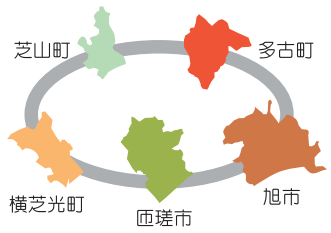
市民負担増の前に、**農産物や「体験型」返礼品の発掘、「企業版ふるさと納税」を推進**し市外から財源を獲得。削減された福祉や地域行事の復活を目指すべきです。



病院再考　無制限の赤字補填は市政を共倒れさせます。老健の民営化や、**新病院の「近隣市町との広域連携・統合」へ舵を切り、持続可能な医療体制へ再考すべきです。**

「広域連携と民営化」によるコスト抑制

100 億円超の単独建設を撤回し、近隣市町と統合して建設費を激減させます。多額の補填が続く**「ぬくもりの郷」**は民間への売却ではなく、市の施設として存続させた上で**「指定管理」**を活用し、市民の利用権を守りながら負担ゼロを目指すべきです。



生活最優先　**市民生活や現場職員の手当を削る一方で、ハコモノ建設や身内の優遇に資金を割く姿勢は本末転倒です。**市民の生活防衛を最優先に据え直します。

市民の声に耳を傾け、ともに未来を創る市政へ

数字ありきの一方的な学校・保育所の廃止は見直し、**「公立こども園」構想**等で未来へ投資すべきです。懸案の**津波避難タワーの対応や新病院建設**も、一部の独断ではなく対話や**「住民投票」**により、納得いく合意形成を図るべきです。



「知らされていなかった事実」に、今こそ NO を。

選挙前に「健全財政」を唱えながら、直後に借金を増やし市民生活を切り捨てる。こうした行政を許してよいのでしょうか？匝瑳市にはまだ、やり直すチャンスがあります。**身の丈に合った市政へ切り替え、削られた福祉や地域行事を取り戻しましょう。**私はハコモノ行政に歯止めをかけ、**市民の命・暮らし・財産を守るため全力で戦い続けます。**



【市政レポート特別版】

香取・鹿島神宮の式典に参列し匝瑳市民の安心・安全な暮らしと皆さんの健康を祈念させていただきました

香取神宮・鹿島神宮「式年大祭」に参列
無病息災と匝瑳市の末永い安心・安全を祈念

本年、十二年に一度執り行われる香取神宮ならびに鹿島神宮の歴史ある「式年大祭（御船祭）」に参列いたしました。伝統ある装束を身に纏い、東国を代表する両宮の厳かな神事の中で、我が街・匝瑳市の「無病息災」と市民の皆様の健やかな暮らし、そして匝瑳市が将来にわたり豊かな発展を遂げ、末永く安心・安全が続くことを深心より祈念・奉納してまいりました。

祈りを「確かな行動」へ—熊本・八丈島被災地の惨状と教訓

両宮での祈りとともに、政治に求められるのは市民の命を守る「現実の行動」です。

8月には亡き後輩へ献花を手向けるため熊本へ向かい、地震の傷跡と復興状況を視察しました。また、昨年10月には台風被害を受けた八丈島に赴き、集合住宅のすぐ裏手まで迫る大量の土砂と倒木を直接確認しました。

熊本での家屋全壊や生活用水の途絶、八丈島での土砂災害の脅威を目の当たりにし、「災害はいつ牙をむくかわからない」という恐ろしい現実と、有事に機能する防災対策の緊急性を強く突きつけられました。

氷川町へ義援金を贈呈—「命の水」復旧への歩み

氷川町役場では町長へ直接義援金をお渡しし、復興の状況をお伺いしました。「一部地域で生活用水の復旧が遅れているものの、間もなく全戸回復の見込み」との説明を受け、災害時における水インフラ確保の重要性を再認識いたしました。

匝瑳市への提言—被災地の教訓を我が街の「命を守る備え」へ

今年発生した千葉豪雨や台風25号の被害、そして熊本や八丈島の被災現場で目撃した惨状と教訓をふまえ、12年に一度の大祭で祈った安心・安全を、現実の確実な防災施策として匝瑳市へ還元してまいります。

住宅の耐震化推進	古い木造住宅の耐震診断・改修支援の強化。
ライフラインの強靭化	水道管の耐震化と非常用水源の確保。
二次災害防止	感震ブレーカーの普及や危険物施設の安全点検強化。
受援体制の整備	支援物資やボランティアを円滑に受け入れる仕組みづくり。
財政調整基金の確保	大規模災害発生時に即座に被災者支援を執行できるよう、十分な財政調整基金を積立・維持すること。

亡き後輩への思いと市民の安心・安全への祈りを胸に、有事に確実に機能する「災害に強い匝瑳市」を必ず築いてまいります。

香取・鹿島神宮の式典に参列


香取神宮式年大祭にて


香取神宮式年大祭にて



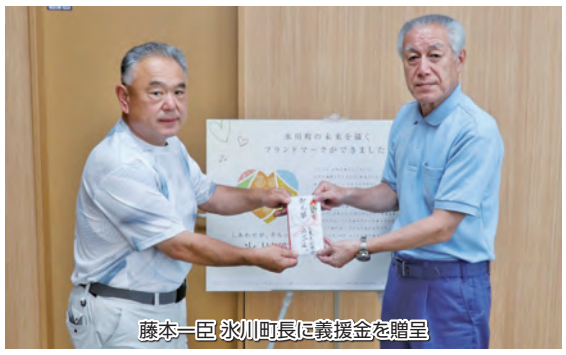
鹿島神宮 式年大祭御船祭にて

2025年10月 八丈島台風被害視察


八丈島 台風被害状況


八丈島 台風被害状況

2026年8月 熊本地震被災地視察


藤本一臣 氷川町長に義援金を贈呈


日本製紙八代工場被災現場


藤本一臣 氷川町長に復興状況の説明を受ける



献花を手向ける

苅谷進一 プロフィール

■ 議長として活動
- 議会をインターネットで公開。
- 議場に国旗・市旗の掲揚。
- 議会全会一致で東日本大震災のガレキを環境衛生組合で受入。

■ 3.11震災時海岸地域対応

■ 本市財政を健全化に導く
- 財政健全化に向けた提案を、毎議会提言し実行を求めました。

■ 議員報酬と議員定数の削減
- 議員定数・議員活性化等特別委員会。
- 委員長として議員定数を削減し20名にしました。

■ 被災地 調査●慰問
福岡県朝倉市･大分県日田市･新潟県糸魚川市･岩手県岩泉町･熊本県益城町･熊本県八代市氷川町・茨城県常総市・福島原発（福島県郡山）・宮城県石巻市・新潟県小千谷市・千葉県匝瑳市令和元年台風被害・石川県能登半島地震 豪雨災害・東京都八丈島台風被害・大網白里市千葉豪雨被害

経歴
- 昭和41年8月2日生（60歳）
- 千葉県立多古高等学校 卒業（剣道部）
- 国士舘大学 政経学部 経済学科 卒業（剣道部）
- 証券会社6年間勤務
- 匝瑳市議会議員（四期）市町村合併期間を含む
- 八日市場市議会議員（二期）【平成11年初当選当時32歳】

履歴
- 匝瑳市議会議員第七代議長
- 議会運営委員会委員長（歴任）
- 議員定数・議会活性化等特別委員会 委員長（歴任）
- **東総地区広域市町村圏事務組合議会 議員監査3年（歴任）**
- 総務常任委員長（歴任）
- 文教民生常任委員長（歴任）
- 八日市場市ほか三町環境衛生組合議会 議員（歴任）
- 全国若手市議会議員の会 会員
- 花と緑の区市町村議会議員連盟 会員
- ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟 会員
- 日本再建のため行革を推進する700人委員会 委員
- 東総地区広域市町村圏事務組合議会 副議長（歴任）
- 匝瑳市議会議員監査役（歴任）
- 千葉県後期高齢者医療広域連合 議員（歴任）
- 東総地区広域市町村圏事務組合議会 議員
- 幹を強くする千の葉の会　会員
- アジア経営者連合会　会員
- 一般社団法人 国土強靭化研究所　会員

その他の役職
飯倉台区長／豊栄小学校PTA会長（平成21年度）／（社）八日市場青年会議所　2006年顧問／千葉県商工会青年部連合会　副会長・監事（歴任）／法人会青年部部員／匝瑳市立八日市場第二中学校PTA副会長／千葉県立多古高等学校同窓会　副会長／千葉県国士舘大学同窓会　匝瑳市支部長／匝瑳市国際交流協会監事／匝瑳市パークゴルフ協会 初代会長／会社役員

資格
高等学校・中学校　社会科教員免許／図書館司書士／全日本剣道連盟　剣道錬士六段／講道館　柔道初段／二級建築・土木施工管理技士／産業洗浄技能士

かりや進一 後援会
〒289-2148 匝瑳市飯倉台11-20
TEL **0479-79-2001** FAX **0479-79-2006**

後援会討議資料

ホームページ　インスタ　X